

宮古盛岡横断道路 宮古西道路
磯鶏そけい・小山田こやまだトンネル掘削岩の対応について

- 国土交通省 三陸国道事務所では、「(仮称) 磯鶏トンネル」「(仮称) 小山田トンネル」から自然由来の「砒素」の存在（土壤汚染対策法での基準値を超過）を確認しています。
8月19日に学識者・専門家等で構成する「磯鶏・小山田トンネル掘削岩の処理に関する検討委員会（委員長：岩手大学大学院 工学研究科 中澤 廣教授）」を設置し、処理対策等の検討を行ってまいりました。
- この度、現在工事中の（仮称）小山田トンネル及び今後工事を予定している（仮称）磯鶏トンネルから発生する要対策土^{※1}の対応方針を決定しましたので、お知らせします。（下表及び別紙-1、別紙-2、別紙-3）
- なお、磯鶏・小山田トンネルで検出された砒素は自然由来であり、土壌ではなく岩石中に存在することから土壤汚染対策法の基準値は適用されませんが、掘削した岩砕については土壤汚染対策法を準用し、適切に処理してまいります。

※1 要対策土：トンネル掘削岩のうち、砒素の溶出量試験^{※2}で基準値(0.01mg/L)を超過したもの
※2 溶出量試験：環境省告示第18号試験に準拠し、岩砕を2mm以下に粉碎した試料で試験

	箇所	要対策土量	要対策土の対応
小山田トンネル (L=1,100m)	宮古市小山田側 坑口付近	約 1,200m ³	トンネルインバート内への埋め戻し ^{※3}
磯鶏トンネル (L=1,554m)	宮古市藤原側 坑口付近	約 15,000m ³	国管理の土地に盛土し、地下水などへの浸透を防ぐ対策を講じる ^{※3} なお、具体的な場所については、関係機関等と調整中


基準値以下の掘削岩については、一般残土として盛土材等に利用

※3 環境モニタリングを実施

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 TEL 0193-62-1711（代表）
副 所 長 ひらおか ひろし 平岡 弘志（内線204）
工務第一課長 ばば ひろゆき 馬場 裕之（内線411）

（復興道路・復興支援道路については、 で検索できます。）

磯鶏・小山田トンネル掘削岩の処理に関する検討委員会

委員会名簿

(敬称略・順不同)

(委員長)

なかざわ ひろし
中澤 廣 岩手大学大学院 工学研究科 教授

(委員)

いのうえ ちひろ
井上 千弘 東北大学大学院 環境科学研究科 教授

かざま もとき
風間 基樹 東北大学大学院 工学研究科 教授

あなん しゅうじ
阿南 修司 国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ
特命事項担当 上席研究員

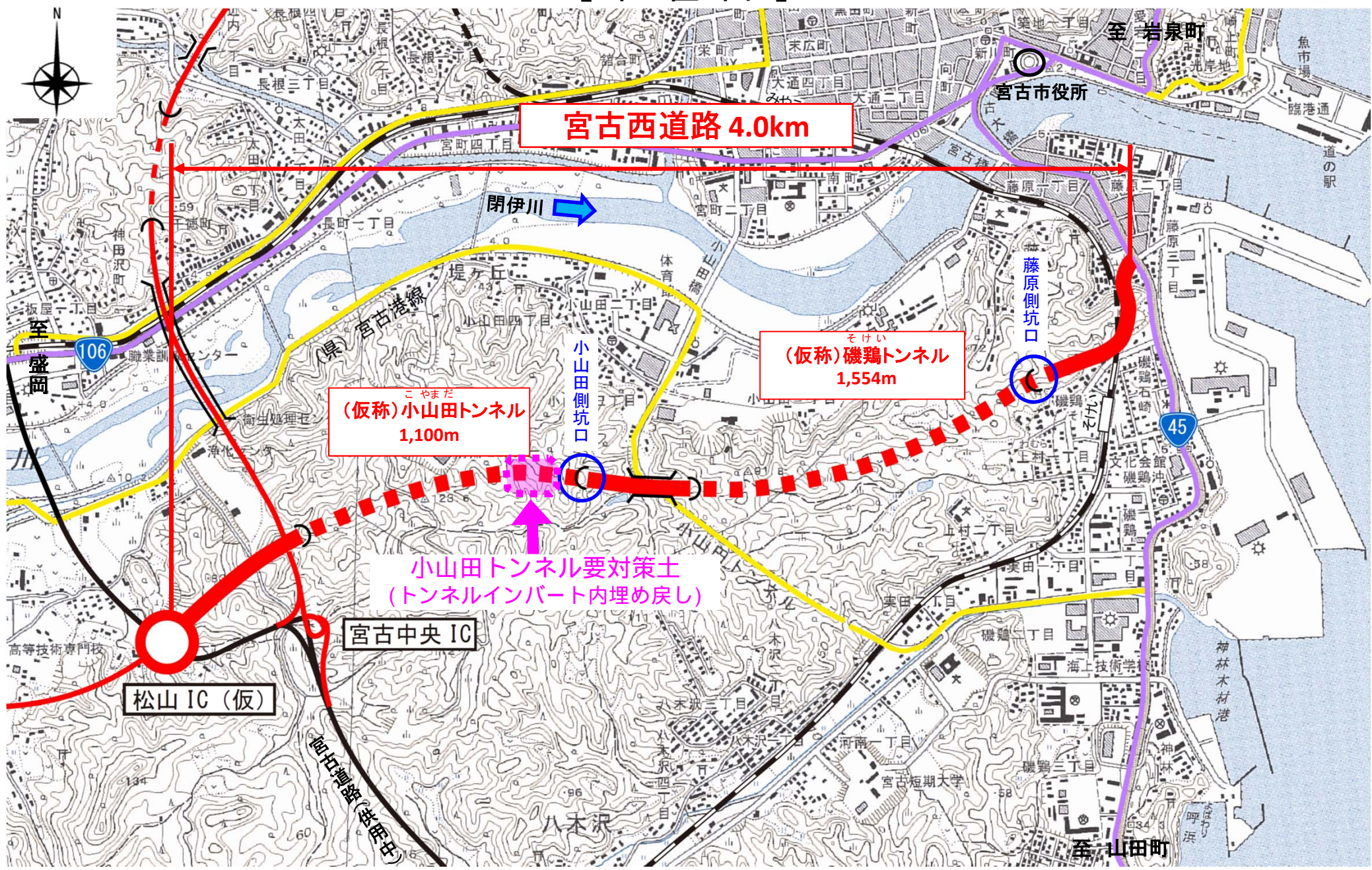
(行政委員)

なが い ひろやす
永井 浩泰 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所長

(事務局)

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所

【位置図】



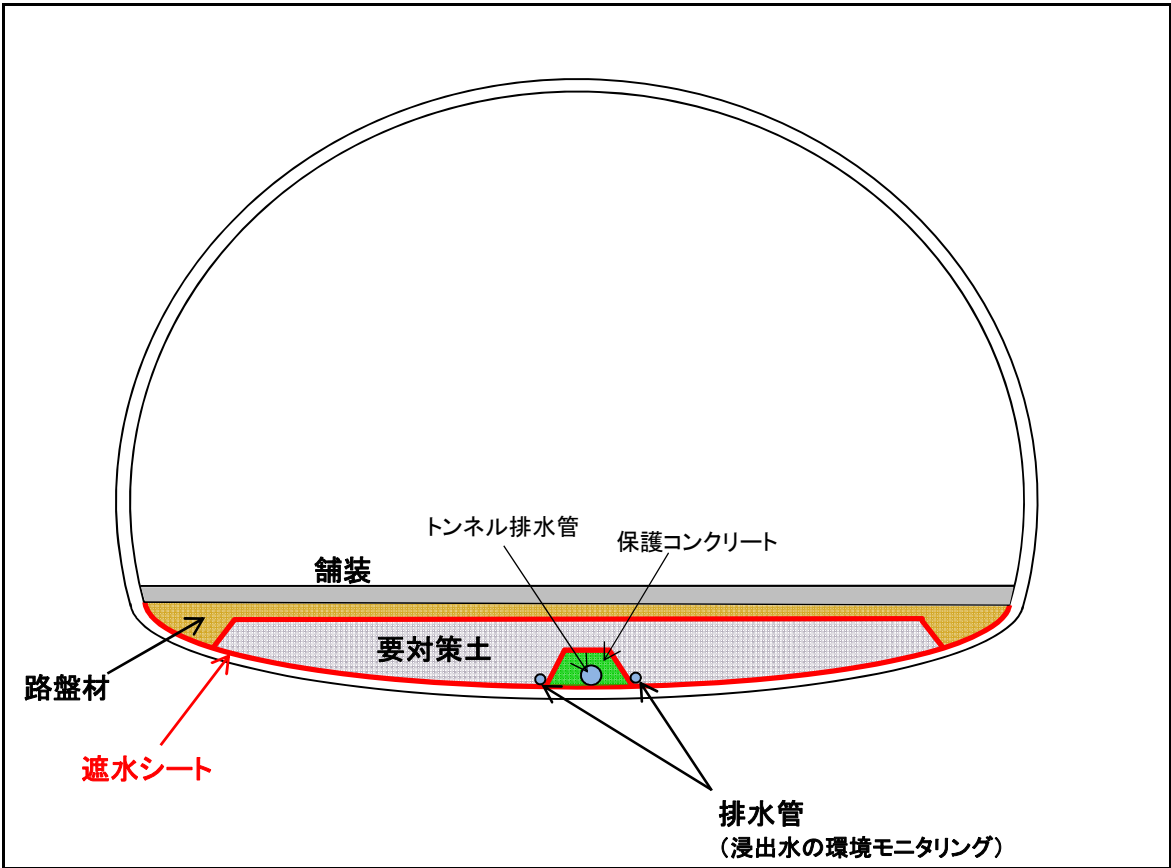


図1. 小山田トンネル対応イメージ

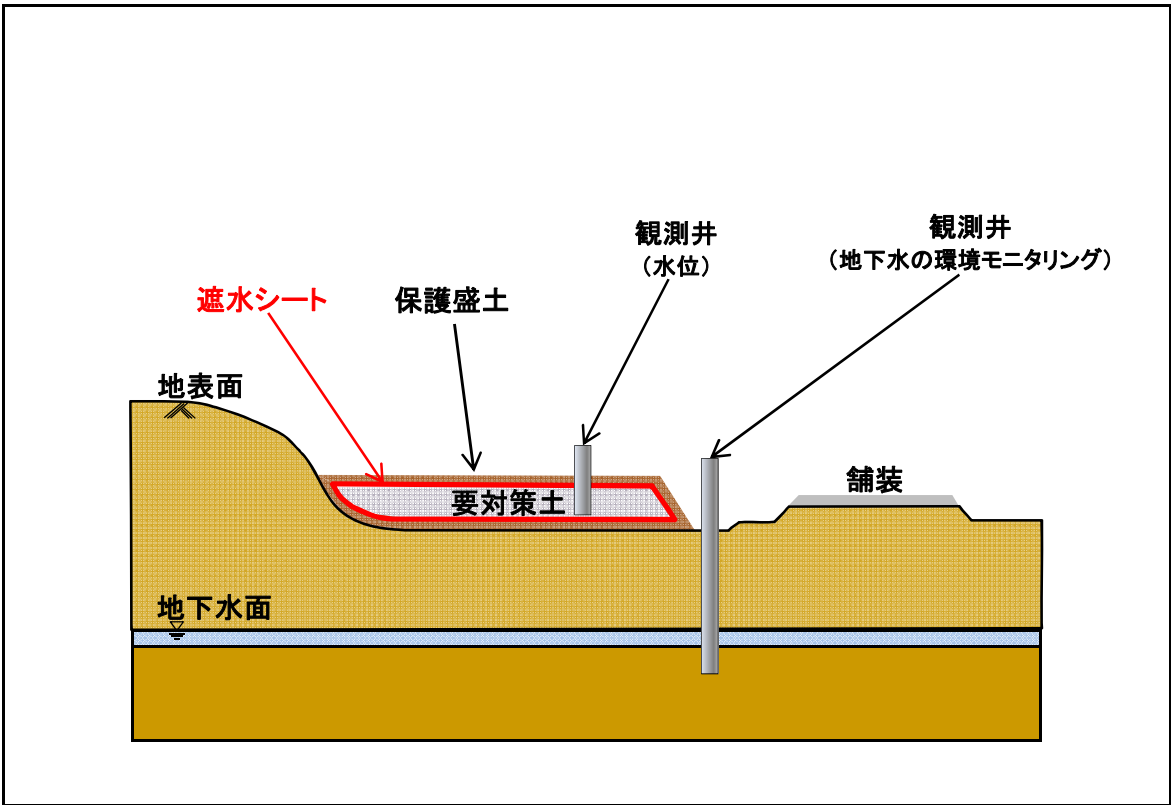


図2. 磯鷲トンネル対応イメージ